

保護者各位

東根市立第二中学校
校長 伊藤 裕

臨時休業期間の延長について（連絡とお願い）

東根市教育委員会からの通知を受けて、下記の通り臨時休業期間を延長します。つきましては、生徒の休業中の生活について、下記の点に留意していただきますようお願いいたします。

記

1 臨時休業期間 令和2年 4月 8日（水） ～ 5月10日（日）

※感染症拡大の状況に応じて、さらに延長する可能性があります。学校再開の際には、注意事項と併せて事前に連絡いたします。

2 休業中の生活について

○臨時休業中、原則として家庭で過ごすことについては、これまで同様にお願ひします。休業期間が長くなっていますが、「感染拡大防止のため」ということを頭において、お子さんの生活をご指導ください。少なくとも感染リスクが高まる行動（密集「多人数集まる」密閉「屋内に集まる」密接「近い距離で話す」）は絶対に避けてください。

○「健康観察カード」は継続して毎日記入させて、お子さんの健康状態を把握してください。「発熱や風邪の症状」がある場合は、医療機関を受診するとともに、担任までご連絡ください。

3 休業中の学習について

○休業中の課題を配布しました。休業中の登校日に点検します。詳しくは別資料「臨時休業中の登校日について」をご覧ください。

休業期間が長くなっていますので、登校日には、学習の進め方について指導する時間を計画しています。

4 その他の連絡事項

○登校日に登校する時はマスク着用のうえ、検温、健康観察をお願いします。体調のよくない人や登校が心配な人は、連絡してください。（欠席にはなりません。）

○4/28と5/1は、スクールカウンセラーの来る日です。「これからの学校生活のこと」「休み中の家での生活のこと」「感染症のこと」等々、相談したいことがあれば遠慮せずに申し込んでください。詳しくは高島先生まで(☎42-0343 東根二中)。

○自転車点検は学校が再開したら行います。登校日には、運動不足解消も兼ねて、なるべく徒歩で来ててください。

すぐにまた臨時休業に入ってしまった。まさに「出口の見えないトンネル」。二中学生のみなさんもととても不安だと思います。当たり前です。日本中、世界中がだれも体験したことのないピンチに立たされているわけですから。誰も「こうした方がいい」という答えを持っていません。

みなさんの学校生活も先が見えません。「いつから授業できるのか」「部活はできるのか」「学校行事はどうなる」…。ごめんなさい、まだ明快な答えはありません。

はっきりと言えることはただ一つ。「生命と健康が最も大切」そして「将来につながる学校生活が大切」これだけは間違いありません。学校を再開するタイミングも、再開してからの学校生活も、これを基準に判断します。

みなさんの休業中の生活も、この基準から決して外れないでください。**感染の危険があるような行動は絶対にダメ**です。（「友達の家を集まって遊んでいた。」などという話が聞こえてきて、とても心配しています。）また、**学校が再開した時に、登校がつらくなるような乱れた生活はしないこと**。「生命と健康が最も大切」「将来につながる学校生活が大切」この基準は忘れないでください。

まずは5月11日の学校再開を思い描いて、先生たちも準備をしています。みんな新しい担任になりましたが、二中の先生たちは、クラス関係なくみんなですべて113名全員の面倒を見ていきますよ。困ったこと、つらいこと、いつでも相談にのりますから、遠慮せずに連絡してください。

校長 伊藤 裕

二中グラウンドを

再び

開放します

貸出日と時間帯

4/20(月) 4/22(水) 4/27(月) 5/7(木) 5/8(金)

① 10:00～11:00 ② 11:00～12:00

③ 13:00～14:00 ④ 14:00～15:00

貸出条件

- (1)少人数グループ（1人～3人以内） (2)一日1回（上記の①～④のうちどれか）
(3)道具は持参する（貸出しない） (4)危険な遊び、目的外の遊びはしない
(5)終わったら手洗いをし、すぐ帰宅する (6)自転車で来ない

使用のしかた

1. 学校に電話する（使いたい時間の1時間以上前に）
2. 名前（全員分）、日付と時間帯、使用目的（やりたい種目など）を伝える
3. 学校に来たら、代表が職員室にことわりに来る
4. 終わったら、手洗いをし、職員室にことわりに来る

注意事項

- 一回の時間帯では、人数を制限します。多人数では活動しないでください。
- 一般的なスポーツや遊びをしましょう。（サッカーとかキャッチボール、ジョグや鬼ごっこなど）
- ケガにつながりやすいことはしないでください。（ラグビーやサバゲールゲームなど）
- 自転車通学許可ができていません。学校へ来るときは自転車をまだ使わないでください。
- 体を動かす機会をつくりたいというのが主な目的です。目的外のことにつながると開放できなくなりますので、自覚をもって使ってください。

（例えば「スマホを持ってきて遊んでいた」とか「帰りに、そのグループで遊びに行った」など）

※わからないことは学校に問い合わせてください。